

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	職員各々の意識により快適な環境が利用者にも通じていたかには、どうしたらいいかを考えることが必要	利用者にとりての快適な居心地の良い環境作り。 安全に配慮しながら開放的な空間 明るく生活感のある場所を目指す	障子を外し(松戸3-09室は今年障子なし) 明るくそのカーテンに模様替えをする。 季節の壁面装飾をする	3ヶ月
2	11	職員の見解の反映に関して	入居者にとりての快適な生活環境に なるよう、また職員にとりても働きやすい 環境となるよう、話し合える環境を 整えていく。	月一度のミーティングにおいて、意見改善案等 話し合う時間を設け、ホーム全体の課題及び 内容のものを管理者が把握し、必要に応じて 管理者会議、エグゼクティブ会議との話し合いの場で意見 提案がでるようしていく。	12ヶ月
3	13	職員に関して	職員の技術及び知識の向上を図る	施設内研修の時間を設けたり、外部研修 への参加の機会を設け、職員に働きやすい	12ヶ月
4	37	職員から見ると満足(というかと思う)が声のかかり言葉遣い、コミュニケーションの中で大切なのとして感じている	言葉の認知症のグループホームでは コミュニケーションの大切さや手段である。 その時の状況を知りて安心して話し合える と学ぶ	言葉は御利用者様との関係における としていく。その方をかかえの存在 して個人を尊重して関係を作り上げていく	12ヶ月
5	34	災害対策に関して	定期的に緊急時の対応についての 勉強会を開催し、知識と技術を取得する	定期的に何回か行うように計画を立てる	6ヶ月